

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	尚綱大学
設置者名	学校法人尚綱学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計		
現代文化学部※	文化コミュニケーション学科	/	1	6	6	13	13	/
生活科学部	栄養科学科	/		2	10	13	13	/
(備考) ※ 現代文化学部は平成30年度から学生募集開始。現在1～3年次が在籍している。次年度に完成年度を迎える。4年次のシラバスは未作成のため公表しない。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学Webサイトにおいて公表。 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/) https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/ (シラバスについてはゲストユーザーからログインし、実務経験のある教員一覧を参照の上検索)
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尚綱大学
設置者名	学校法人尚綱学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学 Web サイトにおいて公表。
<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/outline/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	株式会社役員	2018.4.1 ~ 2022.3.31	法人業務の総理
非常勤	現職：株式会社役員	2019.7.12 ~ 2023.7.11	経営者として広く社会的 知見を活かした経営計画 策定への参画、組織運営体 制へのチェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚綱大学
設置者名	学校法人尚綱学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>■尚綱大学・尚綱大学短期大学部授業計画作成ガイドライン (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■各学部の授業科目一覧 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■各学部の授業科目のシラバス一覧 尚綱大学・尚綱大学短期大学部教務システム URL : https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/ (ゲストユーザーからログインし検索)</p> <p>■授業履修の手引き COMPASS (初年次教育テキスト) (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■概要 授業計画書(シラバス)は、例年 11 月頃に全学的な機関である教務連絡協議会において、次年度のシラバスの作成・点検期間を決定している。12 月に授業担当教員を対象にシラバスの作成・注意点等について説明会を実施し、翌年 1 月下旬まで授業担当教員によるシラバス初校データ作成の後、シラバス点検委員の点検を受け、4 月 1 日に公表している。</p> <p>授業概要(シラバス)は、教務システム(ユニバーサルパスポート)において、各自学生が履修登録をする上で必要な事項、成績評価方法、準備学習、実務経験のある教員などを記載している。また、学習への意欲を試験やレポート等で把握し、学修成果の厳格かつ適正な評価、単位授与を与えることとしている。具体的には、シラバスには成績評価の割合を記載するよう行っている。(例：定期試験 50%、レポート提出 30%、学習意欲 20%) なお、実務教員による授業科目については、上記の本学教務システムにおいて、実務経験のある教員一覧を参照の上検索できる。 これら授業作成ガイドラインを web 上にて公表し、教務システムを通してシラバスを公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学 Web サイトにおいて公表。 https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/ (ゲストユーザーからログインし、シラバスを検索してください。)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>■概要 尚綱大学学則第 13 条第 1 項に定められた単位の計算方法により各授業科目の単位数を決定し、且つ尚綱大学学則第 24 条及び第 28 条に基づき、単位・卒業の認定を行う。本学では単位の認定を行うにあたり、各教員に対してその授業を学ぶ「意味・意義」を意識させたシラバスの作成を求め、またその授業科目がディプロマ・ポリシー（学位授与方針）とどのように関与しているかを明示するよう求める。 具体的には「授業概要」「キーワード」「課題と評価の方法」「事前・事後学修の内容と目安」など記載し、入学した学部・学科の教育課程の授業を履修し、各授業科目に定めている「到達目標」を達成し、学力試験及び受講状況その他により認定の上、合格した者に単位を認定するものとする。 最終的に本学に 4 年以上在学し、所定の授業を履修した上で、124 単位以上の単位を修得した者について学年又は学期の終わりに教授会の議を経て、学長が卒業を認定とする。</p>	
(根拠学則)	
尚綱大学学則第 13 条第 1 項、尚綱大学学則第 24 条、尚綱大学学則第 28 条	
3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>■G P A の算定について 尚綱大学におけるグレード・ポイント・アベレージ (GPA) 制度に関する規程 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p>	
<p>■G P A の種類及び算出方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G P A は、学期G P A、通算G P A に区分する。 ・G P A は以下の式により計算するものとし、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位を表示させるものとする。 ・総履修登録単位数は、G P A 算出対象の授業科目の合計履修登録単位数とする。 	
G P A = $\frac{(\text{秀}4 \times \text{修得単位数}) + (\text{優}3 \times \text{修得単位数}) + (\text{良}2 \times \text{修得単位数}) + (\text{可}1 \times \text{修得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$	
<p>■概要 本学では学生の成績の客観的な指標として、G P A (グレード・ポイント・アベレージ) を採用している。その上で、学生の相対的な成績状況を把握している。また、学生の成績を各学科の専任教員等に情報を共有し、履修指導や各種奨学金等に関することなど、学生指導への活用などを行っている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

■大学のディプロマ・ポリシー

尚絅大学ディプロマ・ポリシー

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad01

■概要

各学部ディプロマ・ポリシーにより、学位授与方針を定めており、4年間に於いてそれらの資質・能力を満たすために、カリキュラムの中にある授業科目を履修することで、学位が授与される。また、具体的に卒業する為の条件として、尚絅大学学則において卒業認定に関する事項が記載されているが、具体的な卒業要件に必要な最低単位数や卒業条件等は、各学部の履修規程において卒業要件（卒業資格）が記載されている。

各学部の卒業要件（卒業資格）に達した人は、学年又は学期の終わりに、教授会の議を経て、学長が卒業を認定ことになっており、その卒業認定の結果については、学内の掲示板への掲示等により学生に通知することになっている。

参考：

尚絅大学（学則）第28条

尚絅大学生活科学部履修規程第4条

尚絅大学現代文化言語学部履修規程第8条

尚絅大学文化言語学部履修規程第6条

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本学 Web サイトにおいて公表。

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad01

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	尚綱大学
設置者名	学校法人尚綱学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/H31.pdf
収支計算書又は損益計算書	本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/H31.pdf
財産目録	本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/H31.pdf
事業報告書	本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/H31.pdf
監事による監査報告(書)	本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/H31.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和2年度学校法人尚綱学園事業計画書)
公表方法: https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/r2_jigyokeikaku.pdf
中長期計画(名称:尚綱学園の長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画~SEI2013~2022~)
公表方法: https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/vision.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/outline/r01_tanki.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/outline/jaca/tandai29.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 現代文化学部文化コミュニケーション学科
教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline ）
（概要）現代文化学部は、高度なコミュニケーション能力を基礎に、高度情報化とグローバル化が進行する現代日本社会及び多様な表現文化について、広い視野から調査・分析する能力を修得し、ビジネスや行政の場で協働して問題を解決できる女性を育成することを目的とする。 （尚綱大学学則第 4 条第 1 項）
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad01 ）
（概要）現代文化学部は、建学の精神のもと、教育研究の目的に則り、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「学士（文学）」の学位を授与します。 (1)日本語および外国語の運用力に基づく、高度なコミュニケーション力を修得している。 (2)伝統的および現代的な日本文化に関する深い知識に基づき、古代から現代に至る日本文化を調査・分析する能力を修得している。 (3)高度情報化とグローバル化が進行した日本の地域社会・地域文化、および東アジアの社会文化に関する幅広い知見に基づき、日本社会・文化に関する諸問題を調査・分析する力を修得している。 (4)上述の能力を総合的に活用して、ビジネスや行政の場で協働して問題を解決できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy?id=ad01 ）
（概要） 現代文化学部は、学則に掲げる目的に基づき、ディプロマ・ポリシーで示す能力を修得させるため、 以下のような方針でカリキュラムを編成します。 (1)大学教育への円滑な導入を図る初年次教育として、自主的思考力を涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力をつけるための科目を配置します。 (2)幅広く教養を培い、豊かな情操や高い倫理観を涵養するために、教養教育科目を配置し、高度な専門的知識・技能を育成するために、専門教育科目を専門導入科目から段階的、系統的に展開します。 (3)日本語および外国語の運用力に基づく、高度なコミュニケーション力の修得のために、教養教育科目で日本語運用能力養成領域および多文化コミュニケーション領域と、専門教育科目で実践外国語科目を配置します。 (4)日本および東アジアの社会と文化に関する諸問題を様々な角度から調査・分析する能力を修得するために、教養教育科目に調査分析基礎領域、専門教育科目に「文芸文化」、「情報メディア文化」、「日本・東アジア社会文化」、「観光文化」の 4 領域を配置し、4 領域から 2 つを学ぶ構成とします。 (5)ビジネスや行政の場で協働して問題が解決できる能力を育成するために、専門教育科目で共通実践科目を配置します。 (6)文化を様々な角度から分析する視座を確立する領域として、文芸文化領域、日本・東アジア社会文化領域、観光文化領域、そして情報メディアおよび現代的なサブカルチャーに関する分析能力を育成する情報メディア文化領域の 4 つの領域を置きます。 (7)文化理解の視座を確立することを目的とする 4 領域に関しては、卒業後の進路に応じて、2 つの領域を組み合わせた形で学修を提供すべくデザインします。 (8)卒業研究に関しては、各領域から 1 名ずつの指導教員を配置し、多面的な見方から文化を分析する能力を育成します。

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy?id=ad01）</p> <p>（概要） 尚綱大学は、尚綱学園の建学の精神・教育理念及び大学の理念を理解し尊重する学生を求めます。 現代文化学部は、高度な日本語運用能力、多様な文化と社会に関する知識を身に付けた上で、高度情報化とグローバル化が進行する日本社会に貢献できる人材を育成することを目指し、次のような学生を求めています。</p> <p>(1)日本の表現文化に興味がある人 (2)現代的な情報技術に基づいたメディアコミュニケーションに興味がある人 (3)国際交流や、国内外の様々な地域文化に関心がある人 (4)観光を通じて、地域社会や地域文化の発展に貢献したい人</p> <p>入学を希望する人には、高等学校等において、国語・英語を中心とした基礎学力（知識・思考力・判断力・表現力）を習得し、高等学校等における活動などを通じて主体的かつ協働して物事に取り組む力を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習等において、問題解決力及びアクティブ・ラーニングにおいて様々な課題を教員・他の学生と協働して探求・解決する力を本格的に育成するために必要となります。入学者の選抜方法として、一般入試、大学入試センター試験利用入試、推薦入試、自己推薦入試、AO入試、編入学試験、社会人入試及び外国人留学生入試を採用し、上記のような能力や資質を多面的・総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試では、国語や英語の筆記試験において基礎学力・技能や思考力・判断力・表現力、面接において主体的にかつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。 ・大学入試センター試験利用入試では、国語や外国語において基礎学力・技能や思考力・判断力を総合的に評価し選抜します。 ・推薦入試では、小論文において思考力・判断力・表現力、調査書や面接において基礎学力・技能と共に主体的にかつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。 ・自己推薦入試では、自己推薦書において基礎学力・思考力・判断力・表現力・技能、調査書や面接において基礎学力・技能と共に主体的にかつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。 ・AO入試では、授業体験において思考力・判断力・表現力、面談とエントリーシートにおいて基礎学力・技能と共に主体的にかつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。 ・編入学試験では、小論文において基礎学力と、思考力・判断力・表現力、面接において多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。 ・社会人入試では、2年以上の社会人経験を有する方を対象に、小論文において思考力・判断力・表現力、面接において、基礎学力と共に社会人としての経験と実績に基づき主体的にかつ多様な人々と協働して学ぶ能力を総合的に評価し選抜します。 ・外国人留学生入試では、作文において基礎的な日本語の文章能力、面接において日本語の会話能力、日本で学習する意欲などを総合的に評価します。
<p>学部等名 生活科学部栄養科学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline）</p> <p>（概要）生活科学部は、人間の健康と食のあり方を広い視野から深く教育研究することにより、食・栄養に関する先進的な専門知識と実践技術を身につけ、自律性・対話力・考察力を兼ね備えた専門職業人として、栄養教育、栄養管理、食育等を通して、広く社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。（尚綱大学学則第4条第2項）</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad02）</p>

<p>(概要)</p> <p>生活科学部は、建学の精神のもと、教育研究の目的に則り、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士(栄養学)」の学位を授与します。</p> <p>(1)幅広い社会的関心と教養を有するとともに、栄養・食品・医療・教育等に関する先進的な専門的知識を修得している。</p> <p>(2)食に関する知識を基盤とした実践的スキルを有するとともに、科学的に情報を分析・活用できる能力と、専門的知識や豊かな人間性に基づく優れたコミュニケーション力を身につけている。</p> <p>(3)専門職としての役割を理解し、社会的責任感と倫理観を備え、自主的自律的に研鑽に努めつつ社会に貢献しようとする態度を備えている。</p> <p>(4)積み上げてきた体系的知識・技能及び最新の知見を総合的に捉え、保健・医療・福祉・教育・行政等の専門分野の課題に対して的確な考察・判断を行う能力をもち、専門職業人として他職種との連携のもと、実践に移す能力を身につけている。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy?id=ad02）</p>
<p>(概要)</p> <p>生活科学部は、学則に掲げる目的に基づき、ディプロマ・ポリシーで示す能力を修得させるため、以下のような方針でカリキュラムを編成します。</p> <p>(1)大学教育への円滑な導入を図る初年次教育として、自主的思考力を涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけるための科目を配置します。</p> <p>(2)幅広く深い教養を培い、豊かな情操や高い倫理観を涵養するために、教養教育科目を配置します。</p> <p>(3)管理栄養士に必要な高度な専門的知識・技能を育成するために、専門教育科目（専門基礎分野及び専門分野）を段階的、系統的に展開します。また、適切な態度・倫理観、さらにそれらを背景としたコミュニケーション力を育成するために、実験・実習・演習を体系的に配置します。</p> <p>(4)栄養士・管理栄養士としての創造的思考力・判断力、社会性、協調性を育成するために、専門的知識と技能の統合的・実践的学修の場として、「管理栄養士総合演習」「臨地実習」「卒業研究」を配置します。</p> <p>(5)栄養教諭（一種）が備えるべき教育学的見識と十分な指導・教育力を育成するために、教養教育および専門教育と連動するかたちで、教育職員免許状取得を目指す教職課程を配置します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy?id=ad02）</p>
<p>尚絅大学は、尚絅学園の建学の精神・教育理念及び大学の理念を理解し尊重する学生を求めます。</p> <p>生活科学部は、健康の保持・増進や疾病の予防・治療を目的にした栄養指導、医療・福祉・教育分野での栄養管理、食育、食品の研究・開発などに強い関心を持ち、食・栄養の専門家としての高度な知識・技能の修得と、管理栄養士の国家資格取得を目指して努力し、優れた見識・国際感覚・豊かな人間性を身につけたいという意欲が強い学生を求めます。</p> <p>具体的には、次のような意欲にあふれた人を求めます。</p> <p>(1)管理栄養士養成カリキュラムの履修に必要な基礎学力を持ち、主体的に勉学を遂行できる人</p> <p>(2)管理栄養士として社会に貢献しようと考えている人</p> <p>(3)食と健康に関する現代的テーマに、強い探究心をもって取り組もうと考えている人</p> <p>(4)生物学・化学などの生命科学に興味があり、専門的な真理を探究する意欲を持つ人</p> <p>(5)他の専門職との連携やチームワークに必要な協調性を持つ人</p> <p>入学を希望する人には、高等学校等において、生物、化学、物理、数学など、生命科学を学ぶための基礎知識や思考力・判断力を習得し、主体的に他者とのコミュニケーションを円滑に行うために国語や英語の基礎学力を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、実験・実習・演習等において、他の学生と協働して様々な課題</p>

を探究・解決する能力を育成するために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般入試、大学入試センター試験利用入試、推薦入試、編入学試験及び社会人入試を採用し、上記のような能力や資質を多面的・総合的に評価します。

- ・一般入試では、国語、英語、生物基礎、化学基礎の筆記試験において基礎学力・技能、思考力・判断力・表現力を総合的に評価し選抜します。
- ・大学入試センター試験利用入試では、国語、外国語、数学、理科において基礎学力・技能、思考力・判断力を総合的に評価し選抜します。
- ・推薦入試では、調査書及び口頭試問において一般教養や生物基礎、化学基礎の分野から基礎学力・技能、思考力・判断力・表現力を総合的に評価し選抜します。
- ・編入学試験では、栄養士養成専門教育に関する分野から、基礎学力・技能、思考力・判断力・表現力を総合的に評価し選抜します。
- ・社会人入試では、2年以上の社会人経験を有する方を対象に、小論文において思考力・判断力・表現力、口頭試問において、基礎学力・技能と共に社会人としての経験と実績に基づき主体的にかつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学 Web サイトにおいて公表。
(URL：<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/outline/>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
現代文化学部	—	9人	6人	2人	1人	0人	18人
生活科学部	—	6人	6人	2人	2人	7人	(教員)16人 (助手含む) 23人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		70人					70人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/teacher					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/fd							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
現代文化学部	75人	45人	60.0%	225人	115人	51.1%	若干名	1人
生活科学部	70人	83人	118.6%	300人	333人	111.0%	10人	10人
文化言語学部	※平成30年度以降募集停止			75人	40人	53.3%	若干名	0人
合計	145人	128人	88.3%	600人	488人	81.3%	10人	11人

(備考)

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)		その他
			人 (%)	人 (%)	
現代文化学部 ※完成年度を迎えておらず、卒業生無し。	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
生活科学部	82人 (100%)	0人 (0%)	80人 (97.6%)	2人 (2.4%)	
文化言語学部	47人 (100%)	0人 (0%)	39人 (82.3%)	8人 (17.0%)	
合計	129人 (100%)	0人 (0%)	119人 (92.2%)	10人 (7.8%)	

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
※現代文化学部は完成年度を迎えていないため記載しない

<就職先>

Uデンタルオフィス/シダックス株式会社/タイハイテクノス株式会社/ちふれホールディングス株式会社
 パルモア病院/マルキン食品株式会社/ライクアカデミー株式会社/リップル株式会社/安田建物管理株式会社/伊藤医院/医療法人 ウェルネスサポートシステム とだか内科クリニック/医療法人 荒瀬会
 荒瀬病院/医療法人 相生会 にしくまもと病院/医療法人 朝日野会 朝日野総合病院/医療法人しば
 じクリニック/医療法人山部会くまもと成城病院/医療法人社団 愛育会 福田病院/医療法人社団 井上
 会/医療法人社団 松本会 希望ヶ丘病院/医療法人社団 藤栄会 介護老人保健施設 湧心苑/医療法人
 社団 平成会/天草厚生病院/医療法人社団杏医会 緒方脳神経外科医院/医療法人松生会 松田病院
 医療法人清和会平成とうや病院/医療法人聖教会 青木優美クリニック/医療法人美崎会国分中央病院
 医療法人野尻会 熊本泌尿器科病院/株式会社 サンデリカ/株式会社 塩梅/株式会社 桜十字
 株式会社 通宝/株式会社 釜屋/株式会社 LEOC/株式会社アウトソーシングテクノロジー
 株式会社えがお/株式会社ハウディ/株式会社白石/株式会社肥後銀行/九州総合サービス 株式会社
 熊本県教育委員会(熊本県公立学校教員 栄養教諭)/熊本県庁/熊本市役所(給食栄養士)/厚生労働省
 医薬・生活衛生局/高森町役場/済生会熊本病院/山鹿市役所/社会福祉法人 慈愛園 愛光幼児園/社会福祉
 法人 慈永会/はまゆう療育園/社会福祉法人 寿楽園/社会福祉法人 伸生紀/社会福祉法人 明芳会
 ヴィラ・九品寺/社会福祉法人福聚会 太郎保育園/社会福祉法人靖共会幼保認定こども園ひでみ保育園
 社会福祉法人楡木会 これのき保育園/西原村役場/青木フルーツホールディングス株式会社
 特定医療法人 萬生会/特定医療法人谷田会谷田病院/特別養護老人ホームひかりの園
 日清医療食品株式会社/日清医療食品株式会社南九州支店/八洲開発株式会社/富士産業株式会社
 富士産業株式会社/有限会社 九州松栄産業/阿蘇教育事務所/習志野市教育委員会/天草教育事務所(上
 天草市湯島小学校)/南阿蘇村立教育委員会(南阿蘇中学校採用係)

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内			その他
		卒業生数	留年者数	中途退学者数	
現代文化学部※	40人 (100%)	人	2人 (5%)	5人 (12.5%)	人
生活科学部	80人 (100%)	71人 (88.8%)	2人 (2.5%)	8人 (10%)	人
合計	120人 (100%)	71人 (88.8%)	4人 (3.3%)	13人 (10.8%)	人

(備考)

※ 現代文化学部は学年進行中のため、2018年度(初年度)の入学者数の実績を、留年者数等は、2019年度中の実績を記載

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関する事

(概要) 尚綱大学授業計画作成手引き

(URL: <https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure>)

各学部の授業科目のシラバス一覧

<https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/> (ゲストユーザーからログイン)

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関する事

(概要)

尚綱大学学則第13条第1項に定められた単位の計算方法により各授業科目の単位数を決定し、且つ尚綱大学学則第24条及び第28条に基づき、単位・卒業の認定を行う。

本学では単位の認定を行うにあたり、各教員に対してその授業を学ぶ「意味・意義」を意識させたシラバスの作成を求め、またその授業科目がディプロマ・ポリシー(学位授与方針)とどのように関与しているかを明示するよう求める。

具体的には「授業概要」「キーワード」「課題と評価の方法」「事前・事後学修の内容と目安」など記載し、入学した学部・学科の教育課程の授業を履修し、各授業科目に定めている「到達目標」を達成し、学力試験及び受講状況その他により認定の上、合格した者に単位を認定するものとする。

最終的に本学に4年以上在学し、所定の授業を履修した上で、124単位以上の単位を修得した者について学年又は学期の終わりに教授会の議を経て、学長が卒業を認定とする。

(根拠学則)

尚綱大学学則第13条第1項、尚綱大学学則第24条、尚綱大学学則第28条

『GPAの算定について』

尚綱大学におけるグレード・ポイント・アベレージ(GPA)制度に関する規程

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure>

尚綱大学ディプロマ・ポリシー

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad01

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
現代文化学部	文化コミュニケーション学科	124単位	④・無	45単位
生活科学部	栄養科学科	124単位	④・無	49単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関する事

公表方法:

(九品寺キャンパス)

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/kuhonji/>

(武蔵ヶ丘キャンパス)

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/musashi/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載 事項)
現代文化学部	文化コミュニケーション 学科	670,000円	220,000円	220,000円	
生活科学部	栄養科学科	750,000円	220,000円	320,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要) 学修支援センター (URL :

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/gakusyu/>)

平成29年4月に学修支援センターを設置し、授業についていけない、学修の方法が分からない、レポートの書き方が分からない、就職試験の一般教養に自信がない、編入学のための準備の仕方が分からない等々の悩みや不安に寄り添い、日々の学修活動がスムーズにいくように支援している。

具体的には、高校までの学習内容の復習や授業内容の補習の他、個別の学習・履修相談、資格取得等の幅広い相談にも応え、九品寺及び武蔵ヶ丘両キャンパスで数学、英語のサポート教科を開講している。また、九品寺キャンパスにおいては管理栄養士の国家試験合格が求められる生活科学部の学生を中心に生物・化学のサポート教科を開講している。武蔵ヶ丘キャンパスにおいては、中国語・韓国語のサポート教科を開講し、語学学修のサポートから留学のための支援も併せて行っている。

このほか、学修相談、履修相談を両キャンパス教務課で行い、スムーズな履修登録が行えるよう指導している。

学修環境について、九品寺キャンパスでは大学図書館にグループ学習室、武蔵ヶ丘キャンパスでは大学棟に学習室を設け、サポートを行う教科を開講し、学生の自習室等に利用できるよう整備されている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要) 就職・進路支援センター (URL : <https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/career/>)

就職・進路支援センターでは、学生の多様なニーズに対応し、希望の就職・進路の実現をサポートしており、①個別支援(履歴書・エントリーシート対策、キャリアカウンセリング、模擬面接)②就職支援・資格取得支援(就職対策講座、簿記検定対策講座)③就職支援プログラム(インターンシップ、企業経営者による講演、会社説明会)④キャリアガイダンス(専門家や社会人による講演、合同会社説明会兼企業研究会、模擬面接、グループディスカッション、メイク・マナー講座、社会人への準備支援セミナー)など希望の就職・進路の実現ができるようバックアップの体制を整えている。学生の希望をしっかりと聞き取り、本人に寄り添いながら人生設計を踏まえ将来のビジョンを共に考えるなど、最適な就職・進路の選択や決定ができるよう支援を行い、夢や希望を実現させるための充実した就職支援体制を整えている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要) 九品寺キャンパス及び武蔵ヶ丘キャンパスに学生支援課を置き、学生生活に関すること全般にわたり支援を行っている。特に学生の心身の健康等に係る支援に関する取組みについては、以下のとおりである。

- ・各キャンパスにおいて年1回(4月)に健康診断を実施し、学生の健康状態を把握する。
- ・各キャンパスにおいて、保健室(養護教諭を置く)を設置し、学生の心身の相談、緊急時の対応を行う。

・各キャンパスにおいて、カウンセラー室を設置し、週1回のカウンセラーによる相談を受け付ける。

これらについては、学生の健康状態、心身の相談状況等を学生支援課、保健室、カウンセラーで情報を共有し、学生の状況について改善を図るよう努めている。

このほか、「学生支援講座」を開講し、学生に対し「薬物乱用防止」、「こころの健康」、「女性の健康」を受講させ、心身の健康に係る支援を行っている。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全学生に対しての「学生支援講座」は実施せず、一部学科のみ開講予定である。また、全学生に対しては「心と身体の健康チェックシート」を作成し回答を求め、健康面で気になる学生には声掛けし必要な対応や支援を行うことを予定している

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：教育研究活動等の状況について、本学のウェブサイトにおいて必要な情報を広報している。<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/>